

H28年度 福島県被災地視察報告

～福島県復興支援員レポート～

東日本大震災から5年半が経ちました。私たち福島県復興支援員5名は、10/23～10/24に昨年同様、事業計画(5,福島県が行う避難者支援事業について、必要に応じて可能な範囲で協力する。及び6,以上のことを実施するにあたり、常に東京臨床心理士会、福島県避難者支援課東京駐在との合意形成を図る。)に、基づき、現地視察を実施しました。

今回は東京社会福祉士会と東京臨床心理士会の支援員に加え、千葉県復興支援員4名も参加、両県の福島県避難者支援課県外駐在も含め総勢16名で、主に、浜通りの復興と現状を視察してきました。被災現地の現在の状況を映像と共に報告させていただきます。(後日、小池東京都知事がほぼ同じコースを視察訪問された様です)

[福島県の現状]

福島県では、一部地域において指示が解除¹⁾(帰還困難区域を除き)されましたが、いまだに複数の市町村で避難指示区域(帰還困難地域、居住制限区域、避難指示解除準備区域)が設定されたままです。一方、県外に避難している人数は、昨年視察をした平成27年9月に比べると、平成28年11月現在で約4万人(約4千人減)、東京都内は約5,200人(約800人減)となっています²⁾。

1) 参考資料 [避難指示区域の概念図と各区域の人口及び世帯数](#)

2) 参考資料 [福島県から県外への避難状況（平成28年11月10日調査）](#)

福島視察研修活動報告

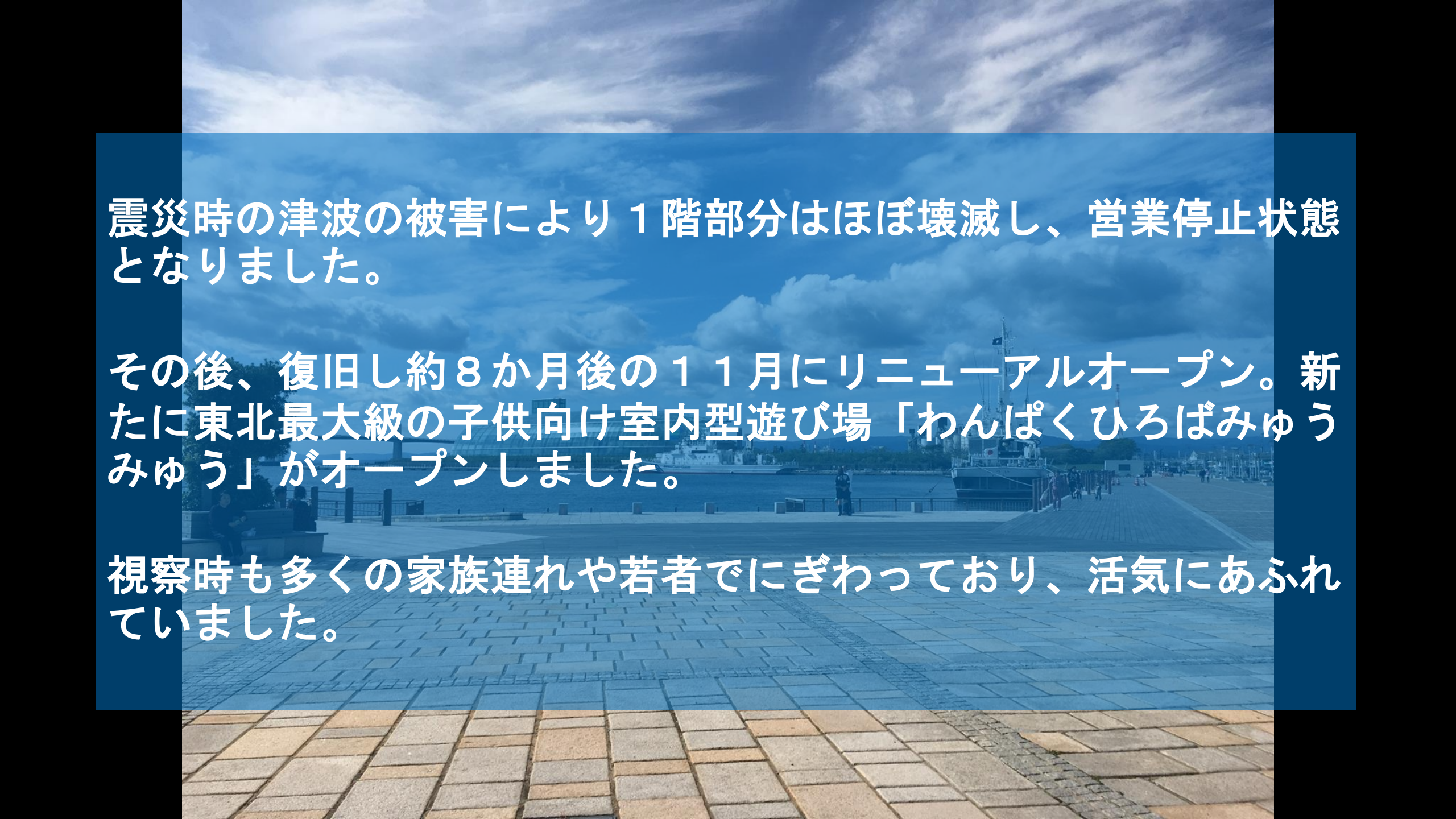
平成28年10月23日・24日

東京社会福祉士会 福島復興支援員チーム

1 0 月 2 3 日 (1 日 目)



いわき・ら・ら・ミュウ
(いわき市小名浜)



震災時の津波の被害により 1 階部分はほぼ壊滅し、営業停止状態となりました。

その後、復旧し約 8 か月後の 1 1 月にリニューアルオープン。新たに東北最大級の子供向け室内型遊び場「わんぱくひろばみゅうみゅう」がオープンしました。

視察時も多くの家族連れや若者でにぎわっており、活気にあふれていました。







かに甲羅
うい貝焼

残念ながら福島近海で
とれたものではありません



鮮魚

海道屋

一吉お会計

まぐろ

珍味

かに汁

天然
岩がけ 700

生か食べます
宅急便で送れます。
おいいです。

ほたて
300
1/枚

真がき 300
この場で
生か食べます!!

天然
岩がけ 600



橋の先には物流拠点ができる予定



福島県復興公営住宅 モデルルーム展示場

—公開時間—

10:00AM~5:00PM

定休日：水曜日

(年末年始の休日:12月30日~1月3日)



福島県

Fukushima Prefecture

ふくしまから
新たな流れを。



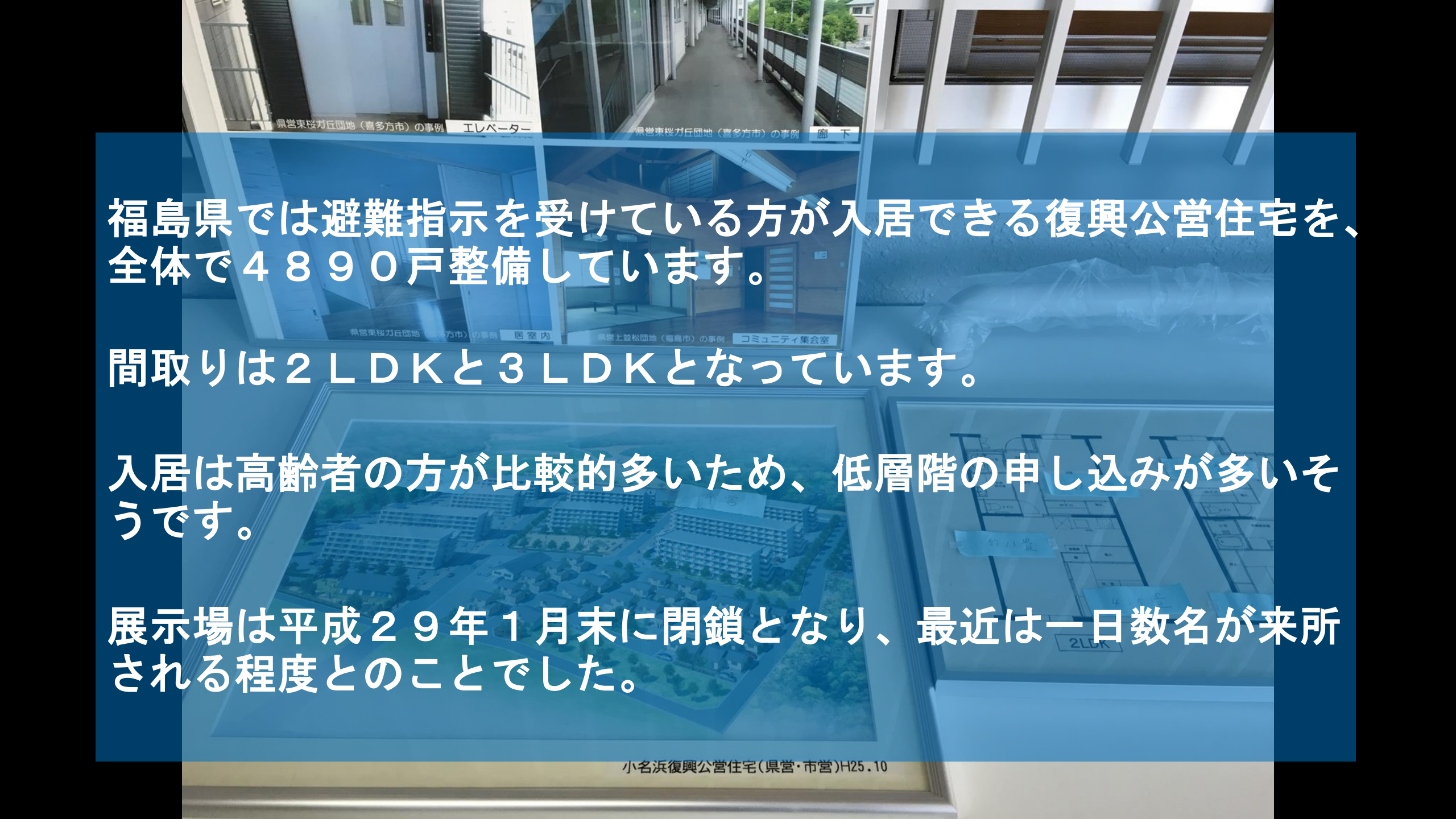
ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

—駐車場でのお願い—

- 停車中はエンジンを止めてください。
- 駐車場の
ついては

復興公営住宅・展示場
(いわき市小名浜)



福島県では避難指示を受けている方が入居できる復興公営住宅を、
全体で4890戸整備しています。

間取りは2LDKと3LDKとなっています。

入居は高齢者の方が比較的多いため、低層階の申し込みが多いそうです。

展示場は平成29年1月末に閉鎖となり、最近は一日数名が来所される程度とのことです。

福島県復興公営住宅 モデルルーム展示場

—公開時間—

10:00AM~5:00PM 定休日：水曜日
(年末年始の休日：12月30日～1月3日)



ふくしまから
新たな流れを。



駐車場でのお願い
※駐車場の土砂は、雨天時などには、土砂が、道路等に流出する可能性があります。土砂が流出した場合は、速に撤去いたします。ご了承ください。

防犯カメラ動作中

警察官立寄所









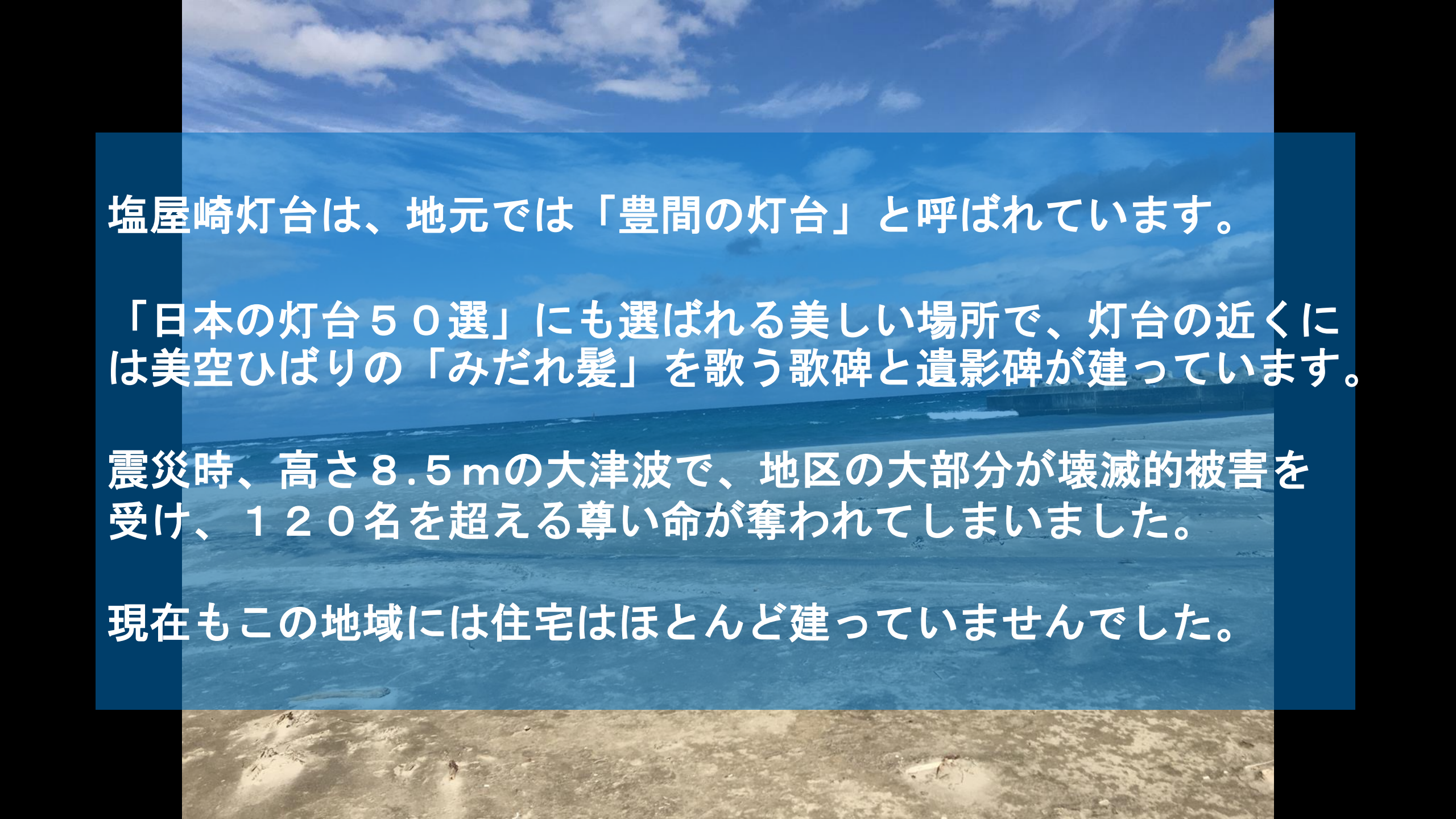


復興公営住宅
(いわき市小名浜下神白)





塩屋崎灯台
(いわき市薄磯海岸)



塩屋崎灯台は、地元では「豊間の灯台」と呼ばれています。

「日本の灯台50選」にも選ばれる美しい場所で、灯台の近くには美空ひばりの「みだれ髪」を歌う歌碑と遺影碑が建っています。

震災時、高さ8.5mの大津波で、地区の大部分が壊滅的被害を受け、120名を超える尊い命が奪われてしまいました。

現在もこの地域には住宅はほとんど建っていませんでした。





作詩 日 93-16 巳

神照
墨子

春は三巻

三十一卷
卷之十一
余子秋

暗渡陳倉

見えぬ心を
照らすて
あてられ

[illegible]

美空ひばり・みだれ髪歌碑

みだれ髪

作詞 日守野郎

作曲 船山汎

歌謡 豊家

春はこきり巻いた世

三斗巻いた余る秋

暗きや泣きや海屋の

見えの心も照るよあれ

ふたりはついにしるゝあれ

歌謡界の女王
昭和六年七月
として作曲家船山
家野郎氏先
作られたみだれ髪
はコロケーションされ全国
ひびきたりいち市
と観光宣伝に大いに
これを記念し碑を
立てました
昭和六年十月二日
薄織観光組
豊間観光組
坂井観光組
いわき観光協



宮 停 織



てはりさん
あんなに
いなかの
永年の
石がらまを
人々を
海を
照らし
こころ

てはり愛箱



おいわき市観光物産
通商・農産物
組合





豊間地区（車内から撮影）



A photograph of the J-Village National Training Center, a large, modern building with a light-colored, textured facade. The building features a prominent entrance with a large, dark, cantilevered roof supported by several white columns. To the left of the entrance, the words "J-VILLAGE" and "National Training Center" are displayed in a metallic, three-dimensional font on the wall. The sky is blue with scattered white clouds. A tall, dark evergreen tree stands to the right of the building. In the foreground, a paved area shows a few people walking and some traffic cones near the entrance.

J-VILLAGE
National Training Center

Jヴィレッジ
(双葉郡)

Jヴィレッジは、双葉郡広野町から楡葉町に跨って立地されているサッカートレーニング施設で、現在は原発事故対応拠点として機能しています。

現在も除染作業を行うための中継地点や資材置き場などに使われています。

2018年までスポーツ施設として再利用するための復旧活動が進められています。





島第1原発事故 収束・復旧の
現場作業員のみなさまへ

事故の発生から
1年が経ちました。事故の収束と
復旧作業は、大変な作業です。
作業員の方々は、大変な
作業をされています。事故の
収束と復旧作業は、大変な
作業です。事故の収束と
復旧作業は、大変な作業
です。事故の収束と復旧
作業は、大変な作業です。
2年3月

事故の発生から
1年が経ちました。事故の収束と
復旧作業は、大変な作業です。
作業員の方々は、大変な
作業をされています。事故の
収束と復旧作業は、大変な
作業です。事故の収束と
復旧作業は、大変な作業
です。事故の収束と復旧
作業は、大変な作業です。
1年3月

事故の発生から
1年が経ちました。事故の収束と
復旧作業は、大変な作業です。
作業員の方々は、大変な
作業をされています。事故の
収束と復旧作業は、大変な
作業です。事故の収束と
復旧作業は、大変な作業
です。事故の収束と復旧
作業は、大変な作業です。
1年3月

事故の発生から
1年が経ちました。事故の収束と
復旧作業は、大変な作業です。
作業員の方々は、大変な
作業をされています。事故の
収束と復旧作業は、大変な
作業です。事故の収束と
復旧作業は、大変な作業
です。事故の収束と復旧
作業は、大変な作業です。
1年3月

事故の発生から
1年が経ちました。事故の収束と
復旧作業は、大変な作業です。
作業員の方々は、大変な
作業をされています。事故の
収束と復旧作業は、大変な
作業です。事故の収束と
復旧作業は、大変な作業
です。事故の収束と復旧
作業は、大変な作業です。
1年3月

平成二十四年一月
小野市立小野南中学校



March 18, 2011
Dear Plant,
your lives
the most
of you
sincerely
at Klean
temulaga school
7/2

March 18, 2011
Dear Workers at the Nuclear Plant,
Thank you for protecting us. I hope you will
get to see your families soon. I am
sincerely,
temulaga school
7/2

Nuclear Plant
protecting us
sincerely
temulaga school

Japan
Dear Workers at the Nuclear
plant, Thank you for everything
You are great heroes
I hope you'll be with your
family soon.

福島第一原発で



お仕事もされているみなさま

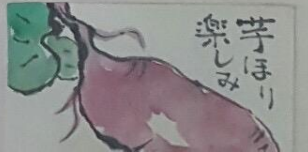
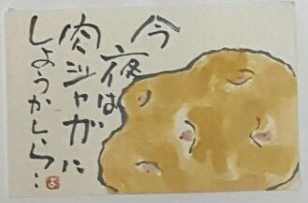
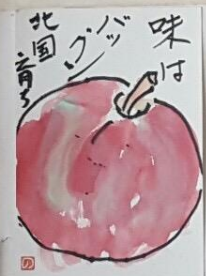


スリッパ
クリスマス
大切な人
良いお年を
お迎えください
今年十二月

2011年未曽有の大災害の
年を残す月になりました。
みなさまも大変な状況の中
お仕事に当たっていらっしゃる可
寒さはまだまだこれからす
厳しい所の作業です。
どうぞおからだを
大切にされ



こんにちは!!
雪の季節に
なり寒さ身に
しみる頃となりました。
十一月には
プロ野球の日本シリーズが
行われソフトバンクホークスの
昇格で幕を閉じました。
そして相
撲では
白鵬の優
勝大関に昇
進した榎っ葉も
優勝4敗でしたが
がんばりを認めて
せうたを頂きました。





富岡駅周辺
(双葉郡富岡町)







富岡～大熊町
(国道6号線車窓から撮影)





店

カマタ



浪江町請戸地区

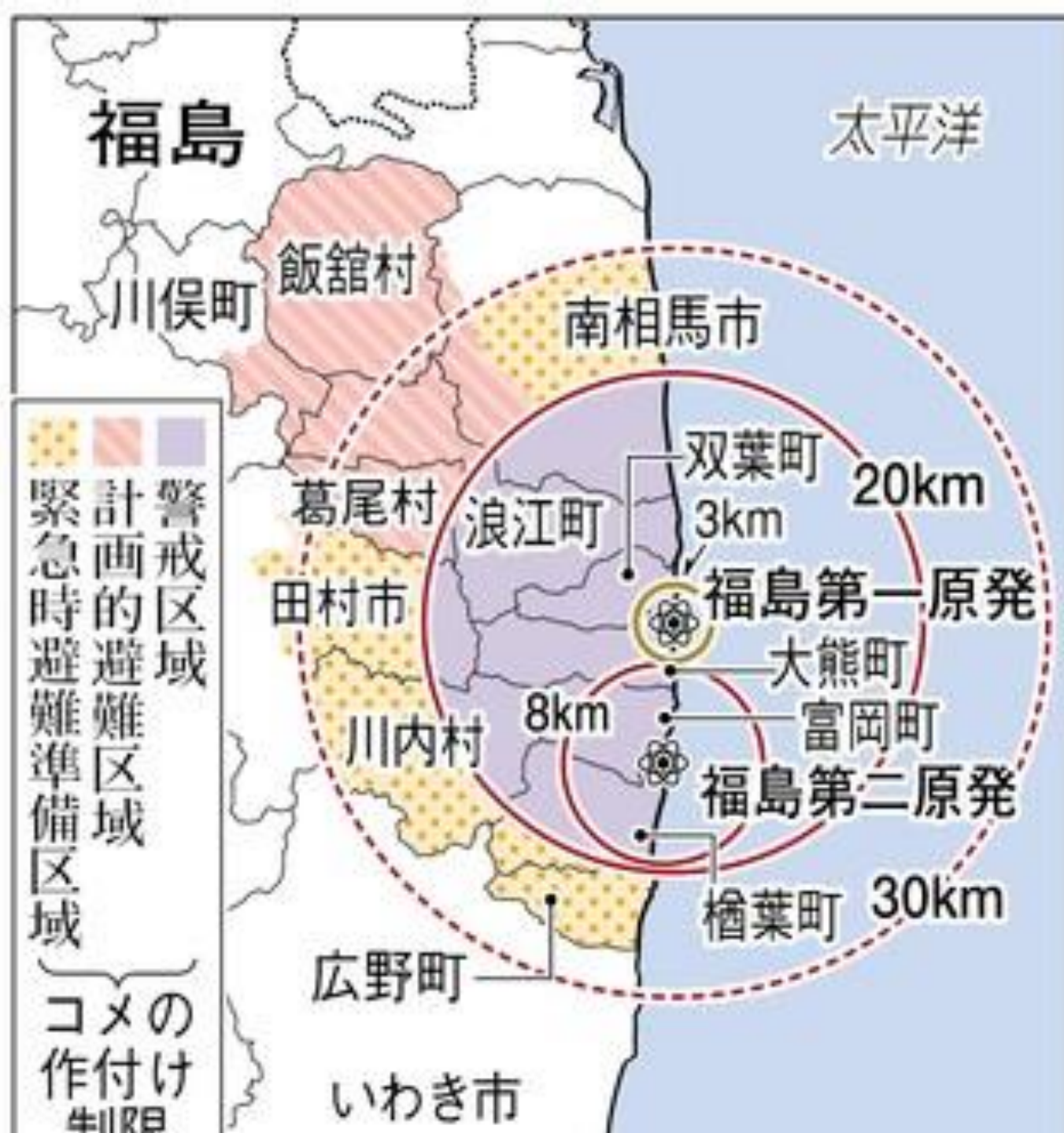






相馬駅
(相馬市内に宿泊)





10月24日（2日目）

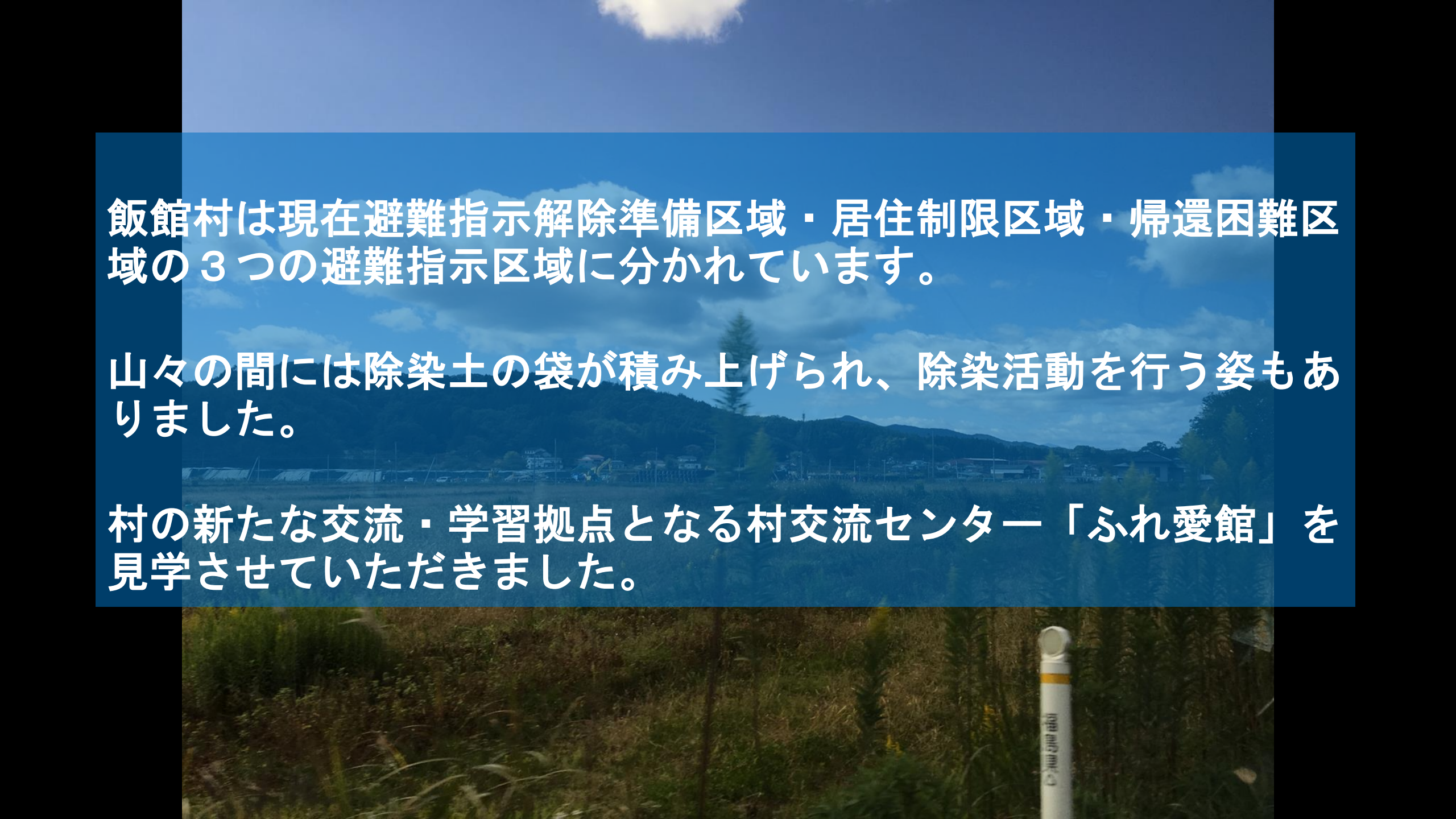


お食事処
はらまち

南相馬鹿島サービスエリア
(セデッテかしま)



飯館村
(車窓より撮影)



飯館村は現在避難指示解除準備区域・居住制限区域・帰還困難区域の3つの避難指示区域に分かれています。

山々の間には除染土の袋が積み上げられ、除染活動を行う姿もありました。

村の新たな交流・学習拠点となる村交流センター「ふれ愛館」を見学させていただきました。







飯館村交流センター
ふれ愛館

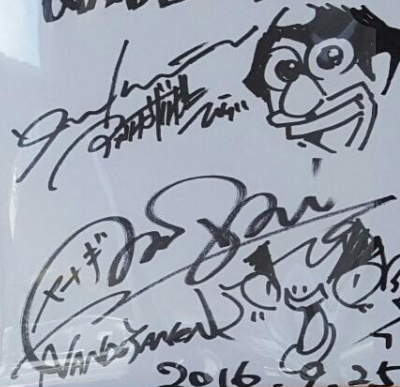


事務室

飯館村さんへ



飯館村さんへ



2016年9月25日(日曜日) 第1版 第1面

拝啓 10年後の飯館村民へ

きょう村制60周年式典
大切な人宛てに手紙・記念切手製作

飯館村は、昭和26年(1951年)に旧飯館町と旧飯館村が合併して誕生しました。今年、村制60周年を迎えます。大切な人宛てに手紙・記念切手を製作し、10年後の飯館村民へ届けるという企画が、今年から始まりました。手紙は、村の未来を思い描き、大切な人宛てに手紙を届けるという企画が、今年から始まりました。手紙は、村の未来を思い描き、大切な人宛てに手紙を届けるという企画が、今年から始まりました。

飯館村様
よ
4に
X
7100





仮設住宅
(福島市内)





Future
From
Fukushima

たくさんの温かいご支援に心から感謝申し上げます。
ふくしまからはじめよう。

福島県庁
(県職員さんに挨拶)



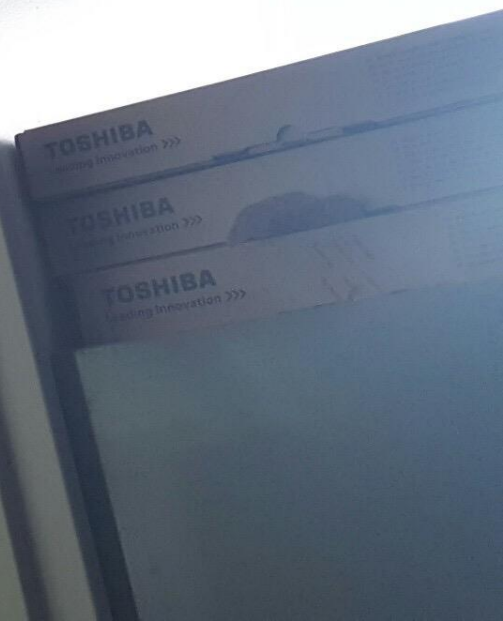
たくさんの温かいご支援に心から感謝申し上げます。
ふくしまからはじめよう。

第1号

本庁
5階 46
避難者支援課
Evacuees Support Division

お知らせ
県では、5月1日
省エネルギー活動を推
(ノ)上着・ノ
・本庁や職員の体調に合わせて軽装に切り替

本庁
5階 46
避難者支援課
Evacuees Support Division



<感想と考察>

今回の視察で、昨年と比べての復興の状況が見て取れたことが、印象的でした。昨年、富岡駅周辺は津波の被害そのままの状況でしたが、線路なども撤去され更地に整備されていました。また、東電が借り受け、原発作業の拠点となっていたJヴィレッジの施設内に保管してある資材が減少し、人影もまばらでした。今年度中の福島県への返却、2019年のスポーツ施設としての全面開業に向けての準備が進んでいるようです。さらに飯館村のふれあい館などに、帰還後の村再建の意気込みを感じました。

一方で、復興が進んでいる地域と、立ち入れず、ガレキ撤去すらできない地域との2極化を、昨年以上に実感しました。浜通りでも富岡町・大熊町・双葉町・浪江町などの(帰還困難区域)は、未だにバリケードで通行止めとなっており、線量が高い地域では多くの除染廃棄物やがれきなどが積み上げられ、時が止まった状況でした。都内に避難されている方々の戸別訪問でよく耳にした、「帰還できない状況」を、実際に改めて感じる事ができたと思います。

以上のように、現地視察を通して、被災された方々の地域や生活環境によってそれぞれの事情が異なることを理解し、今後復興支援員としての活動に役立てていきたいと思い、さらなる避難者支援に向け再度気持ちが引き締まった視察となりました。

私たちは、東日本大震災を忘れません。また、会員の中にも、引き続き、福島県県外避難者を支援する方がいらっしゃると思います。今後の連携のお願いと共に、被災地の現況情報になれば、と、報告させていただきました。よろしくお願いいたします。

<今年度の取り組み状況>

平成29年3月に避難指示区域以外から避難されている方(自主避難者)の応急仮設住宅(借り上げ住宅)の供与が、一部を除き終了します。避難されている方の事情は様々ですが、供与終了までに新たな生活拠点を探すことになります。今年度、福島県と東京都がチームを組み、自主避難者の戸別訪問を複数回実施していますので、私たち復興支援員は、主に避難指示区域の方を訪問させていただいています。

東京社会福祉士会 福島県復興支援員：石田いずみ・佐々木昭夫・橋本一豊・深草裕子・増村喜久子

東京都では飯田橋に「都内避難者相談拠点」を設置し、総合相談を受け付けています。
また、都庁に駐在している福島県避難者支援課の東京駐在員に直接相談することもできます。

☆都内避難者相談拠点：東京都新宿区神楽川岸1-1 セントラルプラザ5F 電話：03-5946-8655 (平日 9:30～17:00)

☆福島県避難地域復興局避難者支援課：都庁第1庁舎13F 電話：03-5388-2384 (平日 9:30～17:00)